

オリオン機械株式会社

長野県須坂市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

製品開発力とグローバルな販売サービス体制を基軸に、新たな挑戦をし続ける

- 生産体制と高効率生産システムにより、顧客への多品種小ロット製品の供給と短納期化を実現
- 地元高校生へのデュアル教育支援や、信州大学等との産学官連携を通じて地域活性化に貢献
- 技術・技能の向上プログラムが体系化された人材育成仕事と家庭が両立できる働きやすい職場の実現

企業基本情報

所在地	長野県須坂市大字幸高 246
電話/FAX	026-245-1230/026-245-5424
URL	http://www.orionkikai.co.jp/
代表者	代表取締役社長 太田 哲郎
設立	1946年
資本金	10,000万円
従業員数	1,853人(連結)



会社概要

国産初のミルカー（搾乳機）の開発等により、酪農機械分野で全国の販売網を築き業績を伸ばしてきた。その後、酪農機械分野で培った冷凍技術と真空技術を活かして産業機械分野に進出し、エアードライヤー、真空ポンプ、ジェットヒーターなどニッチ市場ではあるがトップシェアを獲得している。最近では優秀省エネルギー機器表彰（主催：日本機械工業連合会）を6年間で3製品が受賞するなど「感動を呼ぶ製品をめざして」新分野、新技術に挑戦している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

基幹システムと連携により更なるスピードアップに挑戦

設計、原価管理、受注、発注、生産、出荷が基幹システムで連携している。CAD-CAMのシステムが生産ラインとも直結し、製作指示書のバーコードを読み取ることで、液晶パネルに製作図面が表示されペーパーレスを実現している。

製品出荷情報が販売会社の顧客管理と連携し、納入実績が蓄積されメンテナンスコールに即対応できる体制を構築した。また、営業がカスタムメイドのメニューを選択するだけで見積と納期をその場で回答できるようになった。



2010年省エネ表彰 精密空調機

地域に密着し学校と連携し生徒の育成に携わっています

社長は「信州大学ものづくり振興会」会長として工学部の研究支援と産学連携の強化に努めている。

地元からの要請を受けヒーターを使わない「省エネフード乾燥機」を6次化産業製品として開発し、出荷できないぶどうやブルーベリーをドライフルーツにして商品価値を高めた。地元須坂創成高校の設立にも深く関わり、地元企業50社と連携しながらデュアルシステムを構築して学生を育てるシステムが出来上がった。また、小中高の生徒を積極的に工場見学に招き製造業の魅力を発信している。



2013年省エネ表彰 省エネ乾燥機

新入社員を先輩社員の指導員（メンター制度）がフォロー

毎年20名の新人を採用し、半年～1年間教育訓練を行い職場適応力を高めている。入社後5年の離職率は2%と大変低く、働きやすい職場を実現している。

タイの現地工場に技術者を毎年1名交替派遣し、設計力だけでなく工場を稼働させるマネジメント力養成の機会を設けている。技能向上目的に2009年から技能五輪に参加し、2年連続で金メダルを獲得している。

子育てサポートや仕事と家庭の両立ができる職場環境への取組が評価され「くるみん認定」や「職場いきいきアドバンスカンパニー認証」を受けている。



技能五輪「冷凍空調技術」部門金メダル